

平成 29 年 6 月 28 日

情報学群海外研修助成の募集

本事業は、情報学群生を対象として、諸外国における情報、IoT、メディアなど、広く情報に関して自発的に学ぶことを支援することにより、将来の海外留学、海外での就職につなげることを目的にしています。

下記諸事項に留意のうえ、奮って応募してください。

記

1 応募条件

- (1) 情報学群生であること（休学中の場合は応募できません）
- (2) 学生が自ら主体的に企画した海外研修であること
(期間は平成 29 年 8 月 1 日以降平成 30 年 3 月 31 日までとする。紛争地域及び治安が極度に不安定な地域は認めない)
- (3) 研修渡航目的の達成に必要な語学力を有すること
- (4) グループとしての企画であっても、メンバ個人で申請すること

2 募集人員

2 名程度

3 受付期間

平成 29 年 7 月 7 日（金） ～ 7 月 13 日（木） 正午

4 応募方法

「情報学群海外研修助成申請書（証明書類、見積書等を含む）」及び「日程表」（各学類の Web ページからダウンロードすること）を添付ファイルとして、学生支援あて、件名を「情報学群海外研修助成申請」として電子メールで提出してください。

（学生支援メールアドレス： shien-1@ml.cc.tsukuba.ac.jp ）

なお、電子的な書類以外を提出したい場合は、受付期間内に図書館情報エリア支援室またはシステム情報エリア支援室の学生支援まで提出してください。

5 候補者決定方法・時期

情報学群の教員で構成される審査委員会にて、提出書類及び面接により候補者を決定します。採用者には 7 月末までに通知します。

6 面接

平成 29 年 7 月 18 日（火）の週を予定（1 人 15 分程度を予定）

7 助成の内容

一人当たり 20 万円を上限とし、本学の関連規則に則り旅行完了後精算払いにより支給します。なお、旅費の支給には、旅行代金や宿泊料等の領収書や搭乗券の半券を添付した旅費確認書と海外研修助成報告書（下記）の提出が必要です。

8 海外研修助成報告書の提出

帰国後 1 か月以内に、「情報学群海外研修助成報告書」及び Web 掲載用の抜粋版（A4 判 2 ページ程度）を提出してください（抜粋版は電子的媒体またはメールで）。

なお、報告書抜粋版の著作権は情報学群に属するものとします。ただし、本人の利用を妨げるものではありません。

9 その他

- （1）応募に関する問合せについては、図書館情報エリア支援室学生支援 shien-1@ml.cc.tsukuba.ac.jp まで連絡してください。
- （2）海外渡航に関する諸手続きは、各自で行ってください。
- （3）やむを得ない事情により、日程の変更及び辞退する場合には、速やかに連絡してください。

誓 約 書

筑波大学
情報学群長 殿

学籍番号 _____

氏 名 _____ 印または自署

住 所 _____

このたび、情報学群海外研修助成による海外研修を行うにあたり、筑波大学の教育方針及び学則に則り、筑波大学の学生としての自覚をもちながら、研修を行う国・地域（以下、「当該国等」と略す）の諸法令等及び以下のことを遵守し、専ら研修に精進し、十分な成果を上げて帰国することを誓約いたします。

- (1) 研修の準備期間中または研修中、当該国等に「海外での危機発生時における学生及び教職員の渡航に関する指針について（平成 27 年 7 月 2 日学長決定）」において「学生の派遣・渡航は取り止める」とされる海外危険情報が外務省から発出された場合、当該国等での研修を中止します。
- (2) 研修の全期間（日本を離れる日から帰国する日まで）を対象とした医療、傷害、救援者費用、賠償責任を含む海外旅行保険に加入します。
- (3) 海外旅行保険に加え、研修期間をカバーする海外安全危機管理サービス OSSMA に加入し、海外渡航登録サービス「たびレジ」に登録します。
- (4) 研修中は、安全と健康管理に留意するとともに、不用意に危険な場所へ立ち入らない、深夜に外出しない、危険なアクティビティに参加しないなど、慎重に行動します。
- (5) 研修中に、事故や病気など重大事に遭遇した場合には、すみやかに筑波大学に連絡します。

なお、次の事柄に対して筑波大学は一切責任を負わないことを承諾したうえで海外研修を行います。

- (1) 研修中の天災地変、政府及び公共団体の命令、政変、戦争、ストライキ、暴動、ハイジャック、航空機の事故、交通事故、流行病等、不可抗力の事由にて生じた損害
- (2) 研修中に生じた事故、疾病等による障害・損害
- (3) 本人が当該国等の諸法令、公序良俗に反する行為を行ったために生じた障害・損害
- (4) 研修中の交通機関等のスケジュール変更によって生じた損害

ここに本人が誓約した事項は、私が責任を持って保証いたします。

年 月 日

保証人氏名 _____ 印または自署

本人との続柄 _____

保証人住所 _____

■海外渡航時の本人連絡先は次のとおりです。（携帯電話、メールなど）
